

(中)活動指標群(配点36点)

1	今年度の評価項目	ア 上位7割	2023年度実績 を評価	/	/	/	/	/	/
		イ 上位5割							
		ウ 上位3割							
		エ 上位1割							
2	後継高齢者数と総付員の伸び率の比較	ア 上位7割	2016年～ 2022年の伸び率	/	/	/	/	/	/
		イ 上位5割							
		ウ 上位3割							
		エ 上位1割							
3	PFS(成果連動型民間委託契約方式)による委託事業数	ア 上位7割	2022年度実績 を評価	/	/	/	/	/	/
		イ 上位5割							
		ウ 上位3割							
		エ 上位1割							
<p>◎ 右欄に、2022年度における委託事業数を記載。 ※任意事業数を記載。※単位の記載は不要</p>									
0									

目標Ⅱ 公正・公平な条件を行方体制を構築する(配点100点)

(1) 体制・取組指針(配点68点)

項目	出 題	時 点	回答欄	採 点	記載事項・提出資料	記 録 簿	提出資料	記録簿、提出資料チェック	アンケート
1	<p>介護給付費の適正化に向けた方策を策定しているか。</p> <p>ア 地域のサービス需要や給付費等の動向を把握し、市の地域とも比較・分析の上、介護給付費の適正化方策を策定している</p> <p>イ 介護給付費の適正化方策に基づく取組の効果を検証するための評価指標を定めている</p> <p>ウ イの指標に対する取組等を踏まえ、半年度、取組の課題の分析、改善・見直し等を行っている</p> <p>エ イの指標の達成状況を含み取組の成果を公表している</p>	2023年度実績(予定を含む)の状況の評価	○	3点	<p>アについては、指標の分析内容を記載するとともに、第8期計画又はその他の方策における該当部分を提示。</p> <p>イについては、取組の効果を検証するための評価指標の内容を記載。</p> <p>ウについては、方策の改善・見直し等を行うプロセスの概要を記載。</p> <p>エについては、公表時期、公表場所、公表場所(ホームページ等)を記載。</p>	<p>ア：取組概要、介護給付費適正化の取組の進捗状況の把握、取組適正化専門員からの助言を行うとともに、介護給付費適正化委員会や審判委員会に係る意見交換に及び取り組んだ。</p> <p>イ：公表内容、公表時期、公表場所</p> <p>ウ：令和5年度第4回高齢者保健福祉推進会議(予定)</p> <p>エ：令和5年3月(予定)、市HP: https://www.city.shunan.lg.jp/</p>	資料目録(1)17ア～イ		

項目	出 題	時 点	回答欄	採 点	記載事項・提出資料	記 録 簿	提出資料	記録簿、提出資料チェック	アンケート
2	<p>介護給付費適正化事業を効果的に実施しているか。</p> <p>① 3事業</p> <p>② 4事業</p> <p>③ 5事業</p> <p>ア 介護給付費適正化事業のうち、いくつを実行しているか</p> <p>イ 取組点検10事業のうち、効果が高いと評価される4事業をいくつ点検しているか</p> <p>ウ ケアプラン点検の実施に当たって、若年老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅の入居者に係るものも含めている</p> <p>エ 福祉用具の貸与後に、リハビリテーション専門職等が用具の適切な利用がなされているかどうかを点検する仕組みがある</p> <p>オ 福祉用具購入費・住宅改修費の申請内容について、リハビリテーション専門職等がその妥当性を検討する仕組みがある</p>	2023年度実績(予定を含む)の状況の評価	○	3点	<p>アについては、右欄①の主要5事業のうちから実施している事業を選択。</p> <p>イについては、右欄②の4事業のうちから点検している事業を選択。</p> <p>ウ、エ及びオについては、仕組みの概要を記載。</p> <p>※ ア及びイは左欄の表に○を記載することにより、自動採点。</p>	<p>1. 主要5事業のうち実施している事業を記載。<選択式></p> <p><input type="radio"/> 介護給付費の適正化</p> <p><input type="radio"/> ケアプラン点検</p> <p><input type="radio"/> 住宅改修等の点検</p> <p><input type="radio"/> 福祉点検、高齢情報との実合</p> <p><input type="radio"/> 介護給付費通知</p> <p>2. 「取組点検10事業のうち、効果が高いと評価される4事業」のうち実施している事業を記載。<選択式></p> <p><input type="radio"/> ① 住宅介護支援事業におけるサービス実態状況一覧表</p> <p><input type="radio"/> ② 重複請求履歴チェック一覧表</p> <p><input type="radio"/> ③ 算定期間回数制限履歴チェック一覧表</p> <p><input type="radio"/> ④ 申請請求明細書における重複請求履歴チェック一覧表</p> <p>ウ 住宅介護支援事業所・介護予防支援事業所に対し、ケアプランの点検を行い、自立支援・重症化防止に関する適切なケアプランとなっているか、認知症自立支援や日常生活自立支援を参考に対象者を抽出し介護支援専門員とともに点検・確認を行う予定。</p> <p>オ 山口県作業療法士会・山口県理学療法士会から派遣されたリハビリ専門員が、住宅改修等の点検について広域のかつ専門的な支援を行う予定。</p>	資料目録(1)17ア～イ		

1. 主要5事業
実施数
5

1. 取組点検
実施数
4

(2) 活動指針(配点32点)

項目	出 題	時 点	回答欄	採 点	記載事項・提出資料	記 録 簿	提出資料	記録簿、提出資料チェック	アンケート
1	<p>ケアプラン点検の実施割合</p> <p>ア 上位7割</p> <p>イ 上位5割</p> <p>ウ 上位3割</p> <p>エ 上位1割</p>	2022年度実績を評価	○	3点	<p>右欄①に2022年度における実際のケアプラン点検数を記載。</p>	<p>ケアプラン点検数を記載。 ※ 単位の記載は不要</p>			
2	<p>変換情報との実合の実施割合</p> <p>ア 上位7割</p> <p>イ 上位5割</p> <p>ウ 上位3割</p> <p>エ 上位1割</p>	2022年度実績を評価	○	3点	<p>右欄①に2022年度における実際の点検件数を記載。</p> <p>右欄②に2022年度における出力件数を記載。</p>	<p>1. 実際の点検件数 14615 2. 出力件数 14615 自動計算 (単位: %) ①②: ともに単位の記載は不要 100.0%</p>			

目標Ⅲ 介護人材の確保その他のサービス提供基盤の整備を推進する(配点100点)

(1)体制・取組指針(配点64点)

項目	用 意	時 点	回答欄	特 記	記載事項・提出資料	記載事項	提出資料	アウート
1	<p>地域における介護人材の確保・定着のため、都道府県と連携しつつ、必要取組を実施しているか。</p> <p>※エに該当する場合又はエ以外のいずれかに該当する場合はア及びイに該当していることが望ましい</p>	2023年度実績(予定を含む)の状況を確認	<input type="radio"/> 是 <input type="radio"/> 否	<p>アについては、都道府県や関係団体と共有している資料を提出。</p> <p>イについては、取組の概要を記載。</p> <p>ウについては、独自事業を記載。</p> <p>エ及びイについては、公表内容、公表時期、公表場所(ホームページ等)を記載。</p>	<p>記載事項</p> <p>ア：介護人材確保に関するアンケート調査を都へ提出し、本市の実情について情報を共有している。</p> <p>イ：NPO法人コネクト・ワンが実施している「ふくしの守り隊事業」の開催、会場提供、講師派遣など、チラシ配布、市広報、ホームページ掲載等、教育委員会と連携しながら実施している。</p> <p>ウ：福祉教育のプログラム「ふくしの守り隊オンライン授業」のPRチラシを小中学校に配布。</p> <p>エ：校長会にて、学校への出席啓蒙のPRを実施。</p> <p>イ：市民情報番組での啓蒙、情報発信。</p>	<p>提出資料</p> <p>資料①(1)ア</p>	<p>記録簿、提出資料管理チェック</p>	
2	<p>地域におけるサービス提供体制の確立や、自立支援・重症化防止、介護人材確保に関する施策等の推進に当たって、市内・市外における関係者との連携体制が確保されているか。</p> <p>※ウからオまでのいずれかに該当する場合はア及びイに該当していることが望ましい</p>	2023年度実績(予定を含む)の状況を確認	<input type="radio"/> 是 <input type="radio"/> 否	<p>アについては、連携を確保するための取組の名称及びその概要を記載。</p> <p>イについては、どのような外部関係者が参加したかを記載。</p> <p>ウについては、①～⑤ごとに、どのように活用しているか(定期的に情報共有を行う、関係者間での取組事業を行うなど)を記載。</p> <p>エについては、取組の概要を記載。</p> <p>オについては、介護保険制度の枠組みを超えた連携の具休性を記載。</p>	<p>ア：市内に「庁内連携会議」を開催し、今後の重層的支援体制整備事業の取組調整の役割を担い、課題を共有し意見交換を行う。</p> <p>イ：あ・うんネット町南(在宅医療・介護連携推進事業)の3つのワーキング「介護予防・自立支援ワーキング」「認知症ワーキング」在宅医療・看取りワーキング」を活用している。</p> <p>ウ：健康福祉センター、医師、歯科、歯科クリニック、介護支援専門員、介護福祉士、リハビリ専門員、管理栄養士、地域包括支援センター、社協 等</p> <p>ウ：①～⑤定期的に情報共有を行い、意見交換を行うことでそれぞれの取組に活用する予定。</p> <p>エ：重層的支援体制整備事業の進捗状況を共有する場として活用予定</p>			

(2)活動指針(配点36点)

項目	2022年度実績	2023年度実績	評価	特 記	記載事項	記載事項
1	<p>高齢者人口当たりの地域住民に対する介護の仕方の魅力を伝えるための研修の修了者数</p> <p>ア 上位7割 イ 上位5割 ウ 上位3割 エ 上位1割</p>	<p>2022年度実績</p> <p>を評価</p>	<input type="radio"/> 是 <input type="radio"/> 否	<p>右欄に2022年度における研修の修了者数を記載。</p>	<p>研修の修了者数を記載。 ※単位の記載は不要</p>	<p>要確認</p>
2	<p>高齢者人口当たりの介護人材(介護支援専門員を除く。)の定着、賃金向上を目的とした研修の修了者数</p> <p>ア 上位7割 イ 上位5割 ウ 上位3割 エ 上位1割</p>	<p>2022年度実績</p> <p>を評価</p>	<input type="radio"/> 是 <input type="radio"/> 否	<p>右欄に2022年度における研修の修了者数を記載。</p>	<p>研修の修了者数を記載。 ※単位の記載は不要</p>	<p>要確認</p>
3	<p>介護支援専門員を対象としたケアマネジメントの質の向上に関する研修(介護支援専門員法定研修を除く。)の定着率</p> <p>ア 上位7割 イ 上位5割 ウ 上位3割 エ 上位1割</p>	<p>2022年度実績</p> <p>を評価</p>	<input type="radio"/> 是 <input type="radio"/> 否	<p>右欄に2022年度における研修の定着率を記載。</p>	<p>研修の定着率を記載。 ※単位の記載は不要</p>	<p>5</p>

